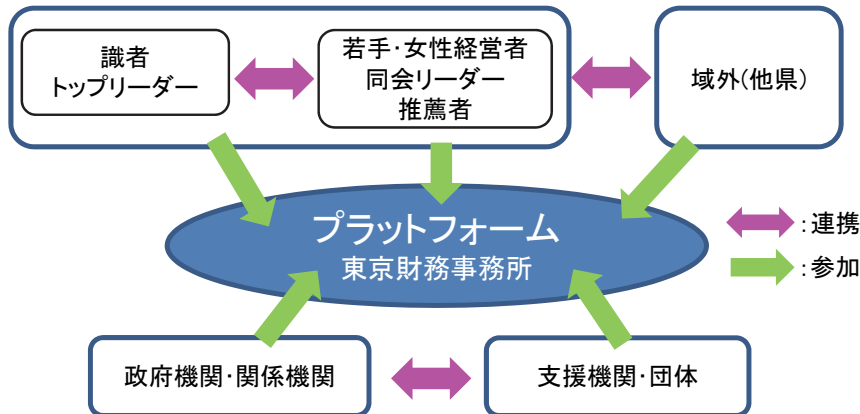


- ◆ 東京財務事務所では、地域活性化のため、東京都内で活動する次世代の中小企業家(若手経営者や女性経営者等)と政府関係機関や支援機関等との異業種分野の交流の場(プラットフォーム)を平成26年11月より提供(27年4月より「東京活性化サロン」として開催)。
- ◆ 27年度は、中小企業家の関心のあるテーマを中心に講演会・意見交換・ワークショップ等を計9回開催。
※テーマ：異業種交流、経済、財政・税制・中小企業金融(創業、経営支援、事業承継、補助金等)、産業政策等の諸政策等
- ◆ 今後も、当所は、ゆるやかな連携を醸成しながらネットワークを拡大し、各地域の地方創生・地域活性化に貢献していく。

1. 成果事例の概要等

○ 東京財務事務所では、東京都内で活動する次世代の中小企業家(若手経営者や女性経営者等)と政府関係機関や支援機関等との異業種分野の交流の場(プラットフォーム)を平成26年11月より提供(27年4月より「東京活性化サロン」として開催)。



○ 同サロンでは、各回ごとにテーマを設け、その内容に合わせてメンバー構成を変えながら開催。27年度は、28年2月までに計9回開催。基調講演を聴講後、活発な質疑応答や意見交換を実施。

次世代企業家を支援する取組として、中小企業政策等を中心に意見交換会を実施。【第1・2・6・8回】
※第6回はテーマに合わせて分科会形式で実施。

女性経営者を支援する取組として、子育て・女性活躍政策等を中心に意見交換会を実施。【第3・6回】

中小企業支援担当者との連携として、中小企業のライフステージに応じた支援策等に関する意見交換会を実施。【第5回】

地域活性化を支援する取組として、地方公共団体・金融機関・商工団体・関係機関等と地域活性化の支援についての意見交換会を実施。【第4・9回】
※第9回は西多摩地域を対象に実施。

都内信用金庫・信用組合等の実務担当者との情報共有の推進を目的として、事前アンケートで要望の多かったテーマ(サイバーセキュリティ、マイナンバー、事業性評価)を採り上げ意見(情報)交換会を実施。【第7回】

2. これまでの取組の成果等

＜主な成果＞

これまでの東京活性化サロンの開催を通して、以下のような成果を確認。

- 女性の創業のための小口融資制度を充実(27年度補正予算で手当)。
- 中小企業支援機関・土業等との連携拡大(都内信用金庫等が「板橋モデル」を採用)。
- 中小企業支援内容の充実(中小企業基盤整備機構がHPの支援メニューを改良)。
- 地方公共団体首長等の理解が進み、地方公共団体と地元信用金庫が連携。
- マスメディアの関心も高く、掲載記事が増加。
- 広域連携への理解・認識が深まり支援センターの運用面を充実する動き。

＜参加者の感想＞

- このような機会はなかなかないので、参加企業として、非常にありがたい。継続的な開催を強く希望する。
- 地方公共団体は、自らの情報にのみ偏りがちなので、広域的な分析・事例紹介が非常に参考になった。
- 他の金融機関の生の意見を聞いたことが一番の収穫だった。

東京活性化サロンin西多摩【第9回】では、「西多摩地区の地方創生・地域経済活性化に向けた取組状況」及び「取組に当たっての課題・問題点・関係機関等に期待すること」等について意見交換を行った。



第9回東京活性化サロンの模様

3. 今後の課題と東京財務事務所の対応

＜今後の課題＞

○ 参加者の要望に応じたテーマ作りと継続的な開催。

＜今後の東京財務事務所の対応＞

○ 27年度は、当所での開催のほか、墨田区【第8回】、青梅市【第9回】でも開催。引き続き、参加者の要望に応じたテーマ・場所で、有意義な意見交換が行えるようにしていく。特に、西多摩地区では、地元企業との意見交換や、核となり得る関係者との意見交換を通じて、次回以降の展開を検討していく。

中小企業家等のニーズを取り込むため、構築した「ゆるやかな連携」を更に展開・発展させ、各地域の地方創生・地域活性化に貢献していきたい。